

「安心」に変える  
テクノロジーの力で  
獣害の「脅威」を、

動物目撃情報共有サービス

# クママップ

株式会社BearBell/  
国際教養大学公認団体BearBell

## 安全から共生へ



事業改善のため、  
アンケートへ  
ご協力をお願いします！

トップダウン  
ボトムアップ  
両立型情報共有

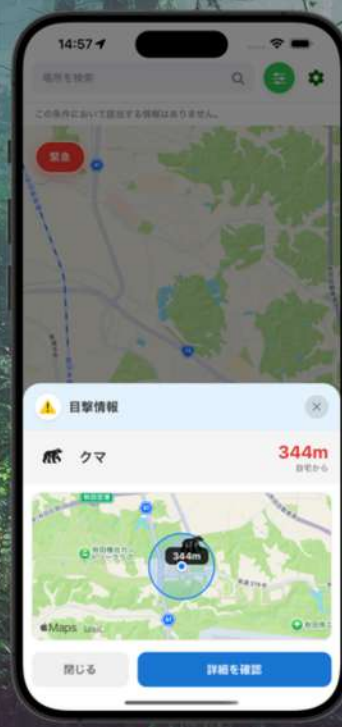
自動検知  
システム

AI予測で  
一次被害防止

様々な動物種による獣害に幅広く対応！



目撃情報マップ



リアルタイム共有

主な採択・受賞実績・メディア掲載

MiTOHOKU Program

SENDAI GLOBAL STARTUP BASE

せんだい  
共創ラボ SOCIAL  
IMPACT  
BOOSTER  
2025

未来を語る！ビジネスアイデアコンテスト  
イノベのたまご  
2025

ANC  
OPEN THE FUTURE

AKITA WAKAMONO  
CHALLENGE

OIC  
Cleantech  
Challenge.

野

読食新聞

事業構想  
PROJECT  
DESIGN  
ONLINE

SPARK!TOHOKU2025  
Startup Pitch

INNOVATION  
WORLD

SNSも  
ご覧ください！

Instagram



@bearbell\_au

Facebook



@BearBell

LINEオープンチャット



リンク集





# 日常生活の脅威に、終止符を。

## トップダウン&ボトムアップ両立型 動物目撃情報共有システム

### 発足の動機・背景

#### 問題意識

- 県ごとに異なるサイト（コスト高・全国対応なし）
- 情報が届くまでのタイムラグ
- 一次被害は防げない（人命被害・生活萎縮・観光客減少）
- 「本当に守りたい人」に届いていない

01



#### 5秒以内の 即時通知

位置情報と連携し、リアルタイムで即時アラート

02



#### AIによる 行動予測

行動パターンや生息地域を分析し、事前に警告

03



#### 複数の動物 に対応

イノシシ・シカ・サルなども登録・閲覧可能

私たちが通う国際教養大学の周辺でも、クマの目撃が相次ぐようになりました。しかし、既存のメール連絡網では「数時間のタイムラグ」や「他メールへの埋没」といった課題が顕在化しておりました。代表自身、過去6回もの遭遇経験があるからこそ断言できます。「今の仕組みでは、命を守ることにはできない」。「もっとリアルタイムに」「もっと手軽なツールで」。その切実な願いが、BearBellの原点です。

### 主な機能紹介（住民向け無料サービス（開発中））



#### 目撃情報マップ

マップ上で最新の目撃情報を確認

#### スポット一覧

現在地や任意の場所の出没を即時通知



#### ファミリーリンク

離れていても安心

#### 警報

県・自治体の公式警報情報を一覧表示



### 代表者紹介

代表取締役兼CEO

**服部 悠大** Yuta Hattori

所属：国際教養大学 4年  
 役職：事業設計・渉外担当  
 Nexus共同設立代表（2020）、日本若者協議会 教育政策部門政策提言者（2021）、SGSC1期最終選抜（2023）などを経て、シンガポール国立大学留学中に着想。



CTO・共同創業者

**佐藤 孝哉** Koya Sato

所属：国際教養大学 4年  
 役職：アプリ開発・要件定義  
 英検1級、応用情報技術者。一般社団法人Rideon開発部でもあった。2024年にはリトアニアのヴィリニウス大学留学。サーバー構築からアプリ開発までを一貫して担当。





# 成長の軌跡と今後の展望

## これまでの軌跡(Milestones)

01

### 2024年 秋

- ・ BearBell 構想スタート / 団体設立準備
- ・ クマ被害・既存システムの課題をヒアリング

02

### 2024年 冬

- ・ サービス開発開始 / マップ・ニュース・警報など中核機能の要件定義
- ・ 大学公認団体としての認定に向けた準備

03

### 2025年 春～秋

- ・ アーリーアダプター(農家・登山者・猟友会・子育て世帯)へのヒアリング及びヒアリングに基づく事業計画修正
- ・ 各種アクセラレータ・伴走プログラムへの応募・採択

04

### 2025年 冬

- ・ アプリのプロトタイプ開発最終段階
- ・ 秋田県・東北地方での実証実験に向けた調整
- ・ 外部パートナーとの協業・補助金申請が完了
- ・ 株式会社BearBellへ登記

## 今後の開発予定 (Future Roadmap)

### 2026年：無料アプリリリース & PoC実施



- ・ アプリ (iOS/Android)・LINE版を秋田県内リリース (住民向け)
- ・ ドローン×AI×忌避剤散布の連携PoC実施
- ・ 屋外インフラ業界向けPoc実施
- ・ 自治体との連携PoC実施

### 2027年：企業及び自治体向けサービスのリリース



- ・ アプリ及びLINE版の獣害防止サービスを東北各県に展開 (住民向け)
- ・ AI出没予測モデルの精度向上・対応種拡大
- ・ 企業・自治体向けサービスのリリース
- ・ 本サービスを起点とした連携事業及びサービスの実施

### 2028年以降：日本全国及び海外へのサービス展開



- ・ 国内全国へ獣害防止サービスを拡大 & 海外展開も視野に
- ・ 蓄積された生態データを用いて、「危険を避ける」から「自然の魅力を再発見する」エコプラットフォームへ

# お問い合わせ

BearBell について詳しく知りたい方へ  
実証実験への参加、協業のご相談、取材のお問い合わせなど、  
お気軽にご連絡ください。

メール

✉ info@bearbell.jp

ウェブサイト

🌐 https://bearbell.jp

## メンバー・スポンサー募集中

一緒にクママップを作り上げていくメンバーを  
募集しています。

エンジニア、デザイナー、マーケター、  
リサーチャーなど、

興味のある方はぜひご連絡ください。

SNSでも活動を発信中！

クラファンでの応援もお願いします！



@bearbell\_aiu

@BearBell

LINEオープンチャット

リンク集



## 活動の軌跡



熊被害急増の秋田から、学生発アプリ「クママップ」クラウドファンディング開始！

～RedGACYが専業主婦と6500名超のスタートアップ BearBell～

RedGACY Innovation Group株式会社

2024/12/15 14:00:00



代表取締役兼CEO 服部 悠大 / CTO・共同創業者 佐藤 孝哉  
(国際教養大学4年) (国際教養大学4年)

CONTACT: info@bearbell.jp